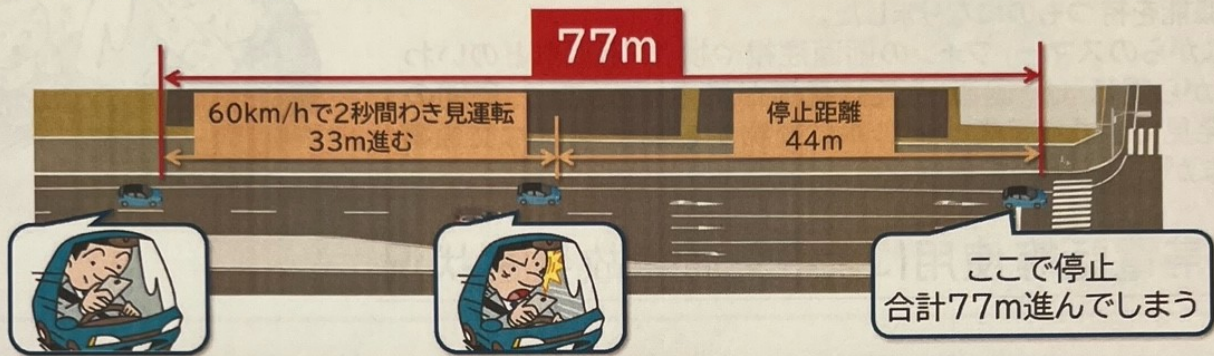


## 2. “ほんの一瞬”が危険を招く

スマートフォンを見たり操作したりすることは「ほんの一瞬」であっても危険です。ドライバーが運転中に2秒間以上視界が遮られると、危険を感じるといわれています。車は2秒間で思った以上に移動します。その間、スマートフォンの画面を見るなどして周囲の視界が遮断されると、前車、対向車、歩行者等に気づくのが遅れ、ブレーキ操作等が間に合わず、追突、衝突もしくは歩行者等をはねるリスクが高まります。時速60kmで走行している場合、2秒間に約33m進み、そこからブレーキをかけても停止距離が44mあるため、合計で約77mも進行してしまいます。



## 3. ながら運転対策

ながら運転の危険性についてみてきましたが、「ほんの一瞬なら大丈夫」という気持ちを生じさせないために、“ながら運転は絶対にしない”という強い意識を常に持ち続けることが大切です。ながら運転の危険性をいま一度認識し、安全運転を心がけましょう。

### 【ながらスマートフォン対策】

- ・着信で注意を奪われないよう、運転前に電源を切るか、ドライブモードに設定しカバンに入れ、そのカバンを後部座席に置く
- ・スマートフォンを操作するときは、安全な場所に停車してから行う
- ・ハンズフリー通話は、会話に気を取られ通常の通話と同じ危険度合いがあり、安全不確認や漫然運転といった安全運転義務違反につながる可能性があることを十分に意識する

### ＜職場での取り組み＞

- ・ながら運転の撲滅に向け、油断が生じないように、定期的に安全運転教育を行う
- ・運転をしている時間帯には、ドライバーへの連絡を控えるなど社内ルールを決める



### 損害保険ジャパン株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1  
 <公式ウェブサイト> <https://www.sompo-japan.co.jp>

### SOMPOリスクマネジメント株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1  
 <公式ウェブサイト> <https://www.sompo-rc.co.jp>

お問い合わせ先

〒798-4110 愛媛県南宇和郡愛南町御荘平城670-2

保険のコンシェルジュ(有)のだ保険事務所